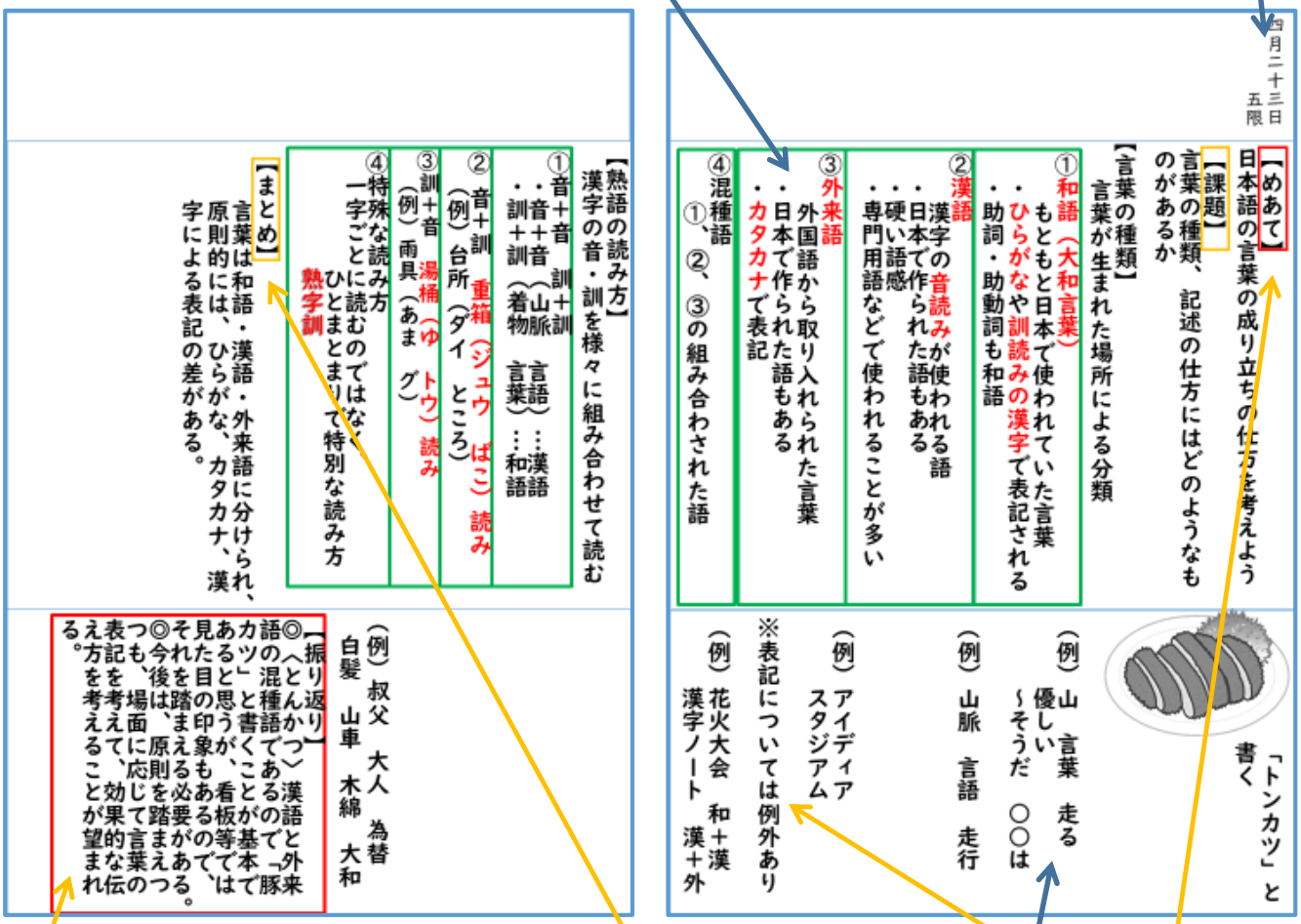
国語のノートの記録のしかたについて

国語のノートは、授業記録というだけでなく、自分の学びを振り返り、今後の自分の学びに対しての指針を考えるためのツールとなります。よって、ノートからも、「関心・意欲」や「話す・聞く・書く・読む」力がどのように高まったのかについて、判断し、評価していきます。

下にノートの記録の留意点を書いておきますので、これを基に自分の学習の記録を作成してください。

上段には、必ず日付と時間を記載

中段には、主に板書の記録



「まとめ」は学習を経て、明らかになったことを記載する。
教員が示すこともあるが、基本はそれぞれで考えて書く。

「めあて」は赤囲み、「課題」は黄囲みで！
今日の授業の見通しをしっかりと持つことが大切

「振り返り」はその時間の自分の学びそのものを見つめ直し、その学習で得られたこと、今後の学習に活かしたいこと、などを記載する。

その単元で新しく学んだことなどを記載しておくと、復習のときに役立つ

下段には、「自分の意見」や「板書されなかった重要事項」
授業後の「振り返り」　などを記載する。